

ホストタウンの推進について

～2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～



内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

復興「ありがとう」ホストタウンについて（2017.9～）

被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の自治体を対象に、震災時に支援してくれた海外の国・地域に復興した姿を見せつつ、住民との交流を行い、2020年に向けた交流を行う「復興『ありがとう』ホストタウン」を設置

○大会参加国・地域の方々との交流

- ・被災時に現場に入って支援してくれた各国のレスキュー隊員や、支援物資等を送ってくれた方々など、復興に貢献頂いた方々を被災地に招いた交流を行う。
- ・交流の機会に復興のプロセスの説明や、各地の被災地ツアーの参加などを行い、被災地の過去と現在の紹介を実施。



2018.1 岩手県野田村の中学生が台湾ロータリークラブに感謝の気持ちを伝える。

○大会参加者との交流

- ・大会中は、相手国・地域の選手を応援し、大会後に大会に参加した相手国・地域の選手（オリンピック・パラリンピアン）に訪問してもらう。



2018.2 ジブチに福島県南相馬市の空手指導者が訪問。



2018.3 岩手県大船渡市に震災時に救助活動してくれた米国救援隊員が訪問。

○日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

- ・従来のホストタウンと同様の取組を実施



2018.1 宮城県東松島市長が支援してくれたデンマーク企業を訪問



2018.2 岩手県花巻市で米国人元野球選手が野球教室を実施



2018.3 岩手県釜石市に震災時にお世話になった豪州人ラグビー選手が訪問

【復興「ありがとう」ホストタウン：27件】※2020/1/7現在

- ・岩手県；宮古市（シンガポール）、大船渡市（米国）、花巻市（米国・オーストラリア）、久慈市（リトアニア）、陸前高田市（シンガポール）、釜石市（オーストラリア）、二戸市（ガボン）、雫石町（ドイツ）、大槌町（台湾・サウジアラビア）、山田町（オランダ）、野田村（台湾）
- ・宮城県；仙台市（イタリア）、石巻市（チュニジア）、気仙沼市（インドネシア）、名取市（カナダ）、岩沼市（南アフリカ）、東松島市（デンマーク）、亘理町（イスラエル）、加美町（チリ）
- ・福島県；喜多方市（米国）、二本松市（クウェート）、南相馬市（ジブチ、台湾、米国、韓国）、伊達市（ガイアナ共和国）、本宮市（英国）、北塩原村（台湾）、楡葉町・広野町・川俣町（アルゼンチン）、飯舘村（ラオス）

復興ありがとうホストタウンサミット in J ヴィレッジ

- 2019年11月4日、福島県 J ヴィレッジにて「復興ありがとうホストタウンサミット」を開催。
- 復興ありがとうホストタウン・ドリームマッチ（ブラインドサッカー日本代表vsアルゼンチン代表の親善試合）は、直前に実施したブラサカ体験会に参加した子どもたちを含め約150名が観戦。
- 復興ありがとうホストタウン連絡協議会第2回総会では、3匹のポケモン（イシツブテ、ラプラス、ラッキー）を「復興ありがとうホストタウン大使」に任命するとともに、各復興ありがとうホストタウンに登録証を交付。
- 1964年東京大会金メダリスト（ツエラル氏（スロベニア・体操）、ウィンドル氏（豪州・競泳））の基調講演や、川俣町の子どもたちによる「ありがとう」の発信（踊り・演奏）、3県の若手アスリートの参加によるパネルディスカッションを実施
- 福島県、岩手県産GAP認証の食材を使用した弁当を配布。
- ブラインドサッカー国際親善試合やパラ競技体験等を通じて復興ありがとうホストタウンをアピールするイベントとなった。



2020ホストタウン・ハウスの設置

- 東京2020大会期間中（2020年7/22-8/10、8/23-9/7）に、内閣官房オリパラ事務局が推進するホストタウン関連イベントとして、一般社団法人ホストタウンアピール実行委員会が武蔵野大学 有明キャンパスに「2020ホストタウン・ハウス」を設置。
- 全国のホストタウンがこれまで行ってきたホストタウン交流の様々な活動の経過をアピールする集大成の場として設置。2020年を超えて交流が継続していけるよう、創意工夫を凝らしたイベントの実施や「復興ありがとうホストタウン」の特設コーナーなどを設置予定。

2020ホストタウン・ハウスのイメージ



展示イメージ



展示イメージ

キャンパス全体を4つのゾーンで構成、魅力的な施策を連携させ相乗効果を最大化

DISCOVERY

ディスカバリーゾーン

持続的活動に向けた多様なアイデアが集まる場

※11時から23時予定



COMMUNICATION

コミュニケーションゾーン

ホストタウンがこれまで行ってきた様々な活動を発表する場

※11時から20時予定



FESTIVAL

フェスティバルゾーン

各国・各ホストタウンのエンタテインメント発表の場

※屋外想定 18時から23時予定



3号館

1号館

6号館

建築中

正門前



MATCHING

マッチングゾーン

賛助会員を中心としたゾーン

※11時から20時予定



「復興ありがとうホストタウン」の常設展を設置予定



日本郵便によるホストタウンの取組との連携について

- 2019年6月11日に開催された第3回ホストタウン首長会議において、日本郵便より「ホストタウンフレーム切手の販売」、「ホストタウン内の学校から相手国へのお手紙」の取組について発表があった。
- ホストタウンフレーム切手は、これまでに6ホストタウンで販売されている。第1号で製作された「富士見市×セルビア共和国」は、当初500シート用意していたが、追加で1000シートの増刷が行われた。
- ホストタウン内の学校から相手国へのお手紙は、これまでに35自治体、120校で作成されている。

ホストタウンフレーム切手
「南相馬市×ジブチ共和国」



ホストタウンフレーム切手
「福井市×スロベニア共和国」



ホストタウンフレーム切手「富士見市×セルビア共和国」



葉山町小学校から英国・セーリングチームへのお手紙

